

- ◆企画名 Welcome to ピア・コミュニティ
 日程 2019年6月3日(月)、6月5日(水)
 場所 東体育館多目的ルーム
 参加者数 3日：14名(ピア・サポータ3名、研修生11名)
5日：22名(ピア・サポータ4名、研修生18名)

目的

- ・ピアエリアの利用方法などについて研修生に知ってもらうことで、今後の活動を円滑にすすめられるようにする。
- ・研修生にピア・コミュニティを理解してもらう。
- ・楽しみながらワークを行い研修生同士の交流を促すことで、コミュニティ間の連携につなげる。

内容

- ・アイスブレイク
 マンションの住人を当てるゲームである、「いろいろな人が住むマンション」を行った。それぞれに数枚の情報カードを配り、各自が持っている情報を口頭で共有し、全員で協力して住人を考えることで情報共有の大切さを感じ取ることを目的とした。また、話しやすい環境を作ることで、参加者が今後ピア・サポート活動を行っていく中で継続的な交流を持てるようにした。
- ・ワーク
 グループに分かれてクイズ大会を行った。クイズを通してピア・サポート活動の詳細や、今後活動するにあたり必要な知識などを伝えた。また、グループで一つの答えを出してもらうようにすることで、研修生同士の交流を図った。
- ・ピアエリア説明
 ピアエリアに戻り、備品の取り扱いなどピアエリアを使用する際の注意点について研修生マニュアルを用いて説明した。

効果

- ・他コミュニティの人ともゲームを通して打ち解けることができていた。
- ・ピアエリア内での鍵の保管場所など細かい点をクイズで知ってもらうことができた。
- ・ピアエリアの説明の際、マニュアルを使用しての説明と実際に見てもらうことで、より理解してもらうことができた。

改善点

- ・アイスブレイクのルール説明の際に、あいまいな話し方になっていたのか伝わりにくい部分があったので、リハーサルをしっかりとすべきだった。
- ・ワークで重複する情報があると、研修生が少しまらなそうにしていたので、もう一工夫した方がよかった。
- ・2回目のピアエリア案内の際は参加者がとても多く、細かい部分を見ることができなかつたとの声が研修生から上がったため、グループに分けるなどの対応を臨機応変に行うべきだった。

感想

- ・研修生が最初は静かだったが、ワークを行ううちに打ち解けているのが分かり、楽しみながら交流してもらうことができたと思う。
- ・クイズ形式でピア・サポート活動やピアエリアについて知ってもらい、その後に研修生マニュアルを渡したことで、事前に情報があるため理解しやすくなったのではないかとと思う。

